

環境月報

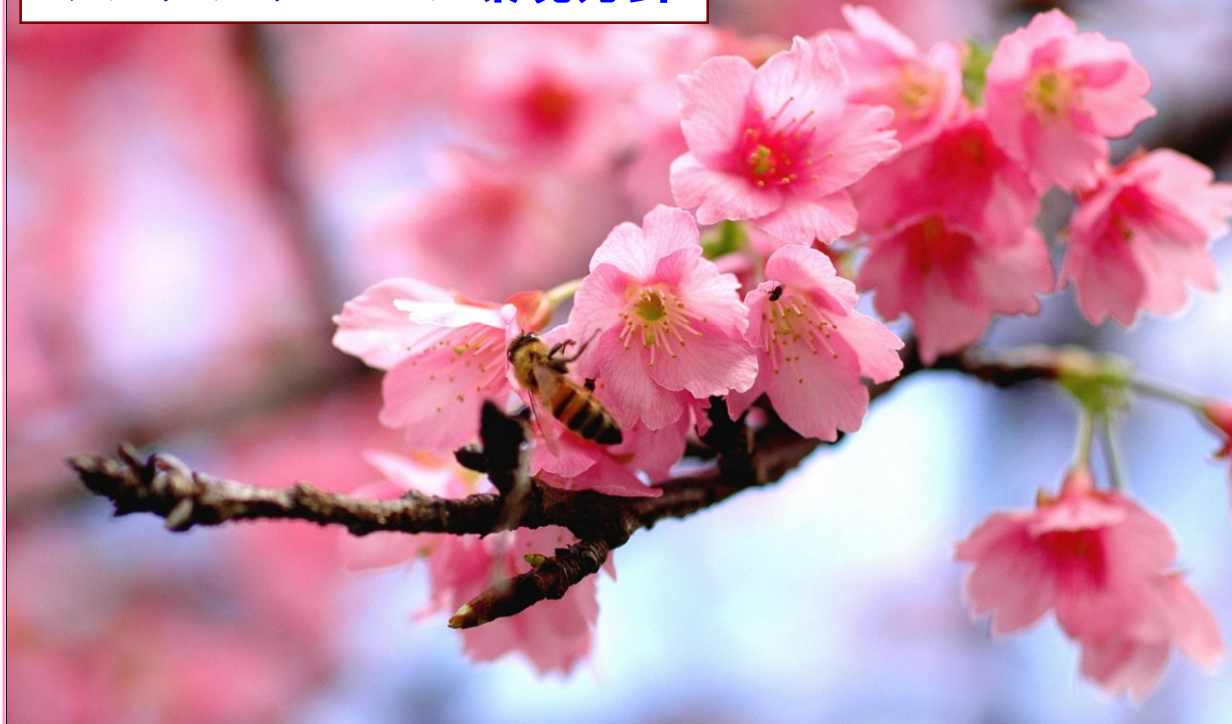
*Environmental Activity
Monthly Report 3.March*

3
'12 Mar.1~31



サンシングループ

サンシングループ環境方針



環境理念

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果を追求し、継続的な製品供給とRoHS対応製品の開発など地球環境にやさしい先進技術を通し、電機業界および社会へ貢献して参ります。とくに、地球環境保全のための諸活動を重要なCSRと認識し、継続企業としての責務を果たしつつ、将来にわたり地球環境の保全に貢献して参ります。

環境方針

1. 事業活動において、省資源化、廃棄物質の削減、環境関連物質の管理を徹底し、環境の維持・改善および環境汚染の予防をはかって参ります。
2. 環境に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスを徹底して遂行し、環境保全に貢献して参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた具体的な目的・目標を設定し、数値により管理できる判りやすい環境管理システムを構築・運営して参ります。
4. 環境管理システムは、定期的な内部監査・マネージメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な継続改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一歩一歩、着実に具現化して参ります。

平成19年8月24日
サンシングループ
代表 石井宏宗

石井宏宗

今月のグループ代表の一言

今月のグループ代表の一言



東京駅が、竣工時の三階建ての姿に戻りつつある。東京駅は大正3年、辰野金吾の設計により華麗な西洋建築として竣工した。関東大震災でも無傷、その磐石性を示したが大東亜戦争ではB-29の空襲を受け、三階部分が焼け落ちてしまった。そのまま、緊急的に補修、今回の改修工事まで二階建てのままであった。個人的には、私の東京駅は二階建てのものであり、戦争の悲惨さを残すためにも竣工時に戻す必要性はなかったように思う。

ところで、東京駅など空襲により廃墟と化した東京では、大量の瓦礫は外堀に投棄されていた。その後、外堀は安易な瓦礫の埋立地となり、現在はその上に高速道路が走っている。

66年後、東日本大震災で出た大量の瓦礫は、日本全国で焼却されることが検討されている。しかし、いまだに放射能に対する安全性は不明瞭なまま。

日本全体で責任を配分しようという踏み絵のような恫喝により、放射能を含んだ瓦礫は日本全国にばら撒かれている。

終戦直後の混乱時に外堀に無計画に瓦礫を投棄したとと、計画的に見せかけた恫喝的な踏み絵による放射能付き瓦礫処理。

これら二つの事例をみる限り、いつの時代もわが国には環境問題意識もなければ、それを指導する政府も存在していないことがわかる。

SANSHIN GROUP
代表 石井宏宗

3月号 INDEX

3月号 INDEX



- PAGE 1 ……今月の表紙
- PAGE 2 ……サンシングループ環境方針
- PAGE 3 ……今月のグループ代表の一言
- PAGE 4 ……INDEX
- PAGE 5 ……今月のトピックス

PAGE 5 ……花粉症と環境問題

各管理項目の今月の状況

—各項目の今月の監視測定結果詳報—

- PAGE 6 …… ECO検定(循環型社会)
- PAGE 7 …… 各廃棄物(SSD/本社)
- PAGE 8 …… 各廃棄物の割合(SSD/本社)
- PAGE 9 …… ペットボトルのキャップ(SSG)
使用済み切手(SSG)
- PAGE 10 …… コピー用紙使用量(SSD/本社・関西)
- PAGE 11 …… 電力使用量(SSD/本社・関西)
- PAGE 12 …… 電力使用量(SKW/朝日)(SFN)

- PAGE 13 ……各部門の活動報告・提案

PAGE 13 …… 2相リンクリアクトル

今月のトピックス

花粉症と環境問題



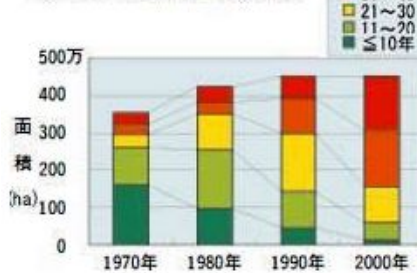
この時期、巷では、マスクを付けている人、ゴーグルを付けている人、鼻にハンカチやティッシュをあてている人をよく見かけます。この人たちを悩ませているのが「**花粉症**」。意外なことに花粉症は戦後に初めて報告された新しい病気です。最初の患者が発見されてからまだ40年ほどしか経っていないのに、患者数は急増しているアレルギー性の病気です。直接的な原因はご存知の通り、この季節に飛散するスギなどの「**花粉**」。
なぜこの花粉が現代の国民病とも言える「**花粉症**」を引き起こし、患者は増加の一途を辿っているのでしょうか？

花粉飛散量は増加傾向

スギ・ヒノキの人工林は、森林面積の約30%を占めていますが、この面積はほとんど増加していませんので、木が増えているわけではありません。実はスギの**樹齢**に関するのです。通常、**スギ花粉**が多く生産されるのは**樹齢30年以上**のものだと言われています。日本におけるスギ・ヒノキの植林は、木材資源の確保などを目的として、昭和20年代から40年代に全国で行われましたが、国産木材利用の低迷などが原因でスギ林の伐採が進まず、**花粉**を多く出す樹齢の高い木がたくさん育ってしまいました。このような経緯から、**スギ花粉**の飛散量が増加しているのです。

スギは樹齢約100年まで大量に花粉を出すと言われておるので、引き続き少なくともあと50年は、大量のスギ花粉が続くということになるのじゃ。

スギの全国年齢別面積の推移



花粉症増加と環境的要因



花粉の総飛散量は、前年夏の気象条件に大きく左右され、「日射量が多く、気温が高いと花粉は多くなり、逆に、雨量が多く、気温が低いと花粉の量が少なくなる」という傾向があることがわかっています。近年問題になっている**地球温暖化**で気温が上昇すれば、それだけ**花粉**の量も多くなることも考えられるのです。

トラックなどから派出される排気ガスなどで、汚染された大気中の多くの微粒子が抗体を産生しやすく、**花粉症**の発症を促進します。また、**舗装道路**の増加に伴い一度地面に落ちた花粉が再び舞い散ることも原因と考えられます。



高タンパクや高脂肪の食生活による食環境の変化や、不規則な生活リズムやストレスの多い生活なども、**アレルギー**を起こしやすくしています。また、住宅やオフィスの近代化に伴い、**通気性**が少なくなるためダニやカビの温床を作ってしまうことも原因といわれています。

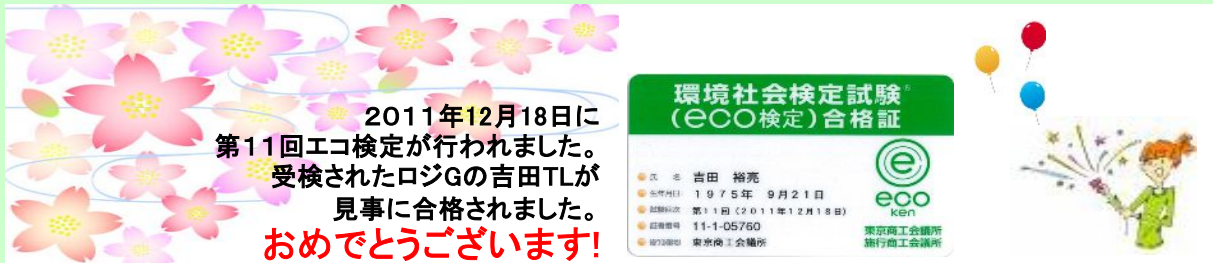


地球温暖化が進むと草木の**花粉**が増え、都市部では光化学スモッグなどの大気汚染もひどくなるため、**花粉症**やぜんそくなどの**アレルギー**患者が増えていきます。米農務省の発表では、アメリカに多いブタクサの花粉での研究で二酸化炭素の量が2倍になると花粉量は4倍になることが判明。このまま**温暖化**が進み**花粉**量が増えないような対策をしていくことが重要です。



サンシングループでは、地球温暖化抑制のために、様々なことに注目・取り組みをしていきます。
(事務局)

循環型社会



試験では毎回のように出題され、私たちの生活と密接な関係を持つ、**循環型社会**についてご紹介いたします。

循環型社会とは・・・

適正な**3R**と処分により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会。

意識すべき**3R**・・・

Reduce・・・物を大切に使いゴミを出さない

Reuse・・・使えるものは繰り返し使う

Resycle・・・原材料として再生利用



ごみ対策というと、初めに**リサイクル**の推進を思い浮かべる人も多いかもしれませんが、**循環型社会**の構築を進めるには、まず廃棄物をできる限り**リデュース**することが最重要であることを忘れてはなりません。

また、**リユース**もこれからますます重要となっています。リサイクルは有効な取り組みですが、リサイクル製品に加工する過程等で環境負荷が生じるといった問題があるのも事実です。

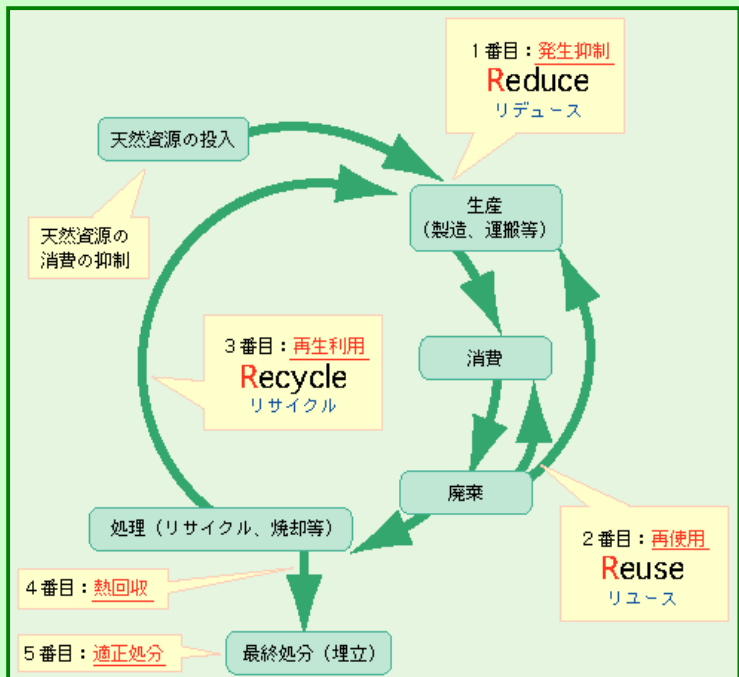
これらの取り組みを進めるために、私たちはそれぞれの責任を果たすことが必要です。

「**循環型社会形成推進基本法**」での基本理念は、

「**排出者責任**」(⇒廃棄物を出す人が、その処分やリサイクルに責任を持つ。)と

「**拡大生産者責任**」(⇒製品の生産者が、その製品が使用され廃棄された後にも、循環的利用や処分について一定の責任を持つ)という2つの考え方です。

「**循環型社会**」を実現していくために、私たち一人ひとりにできることは何かを考え合い、身近な取り組みから実行していくことが大切です。**3R**はそのための具体的な工夫のしかたです。「**リサイクルするからごみを捨ててもかまわない**」という考え方ではなく、私たち一人ひとりが、まず、「**いかにゴミの発生を抑制するか**」をしっかりと考え、かつ行動する社会でなくてはならないのです。



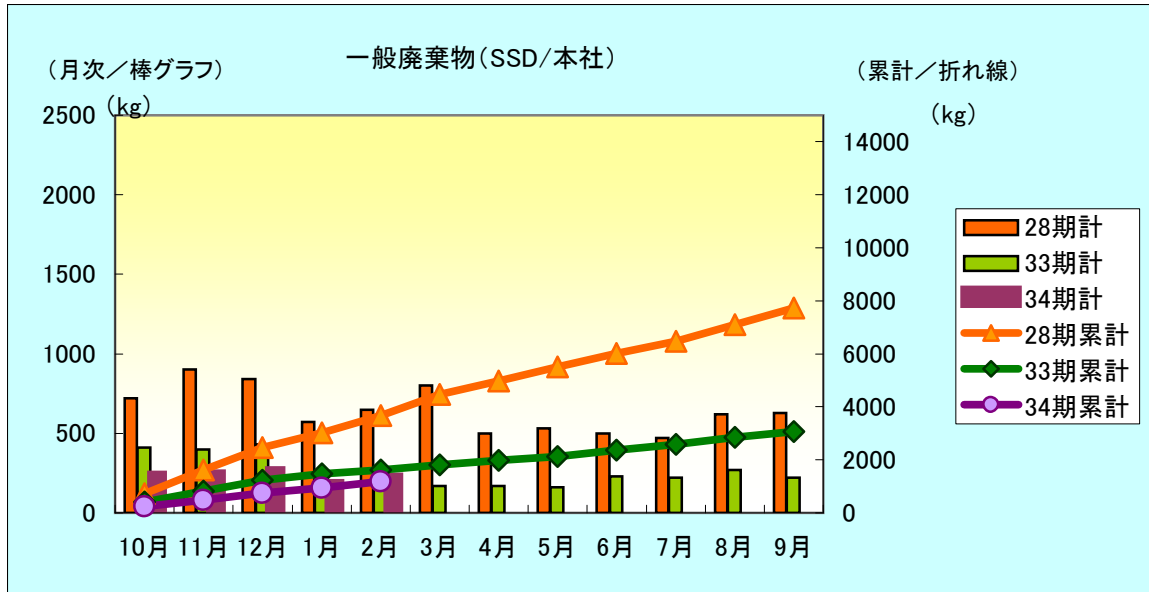
サンシングループでは、今後もゴミの発生を最低限に抑えるよう、努めていきます。

(事務局)

全社活動項目 (Part-2/7)

廃棄物
(本社1)

SSD(本社)

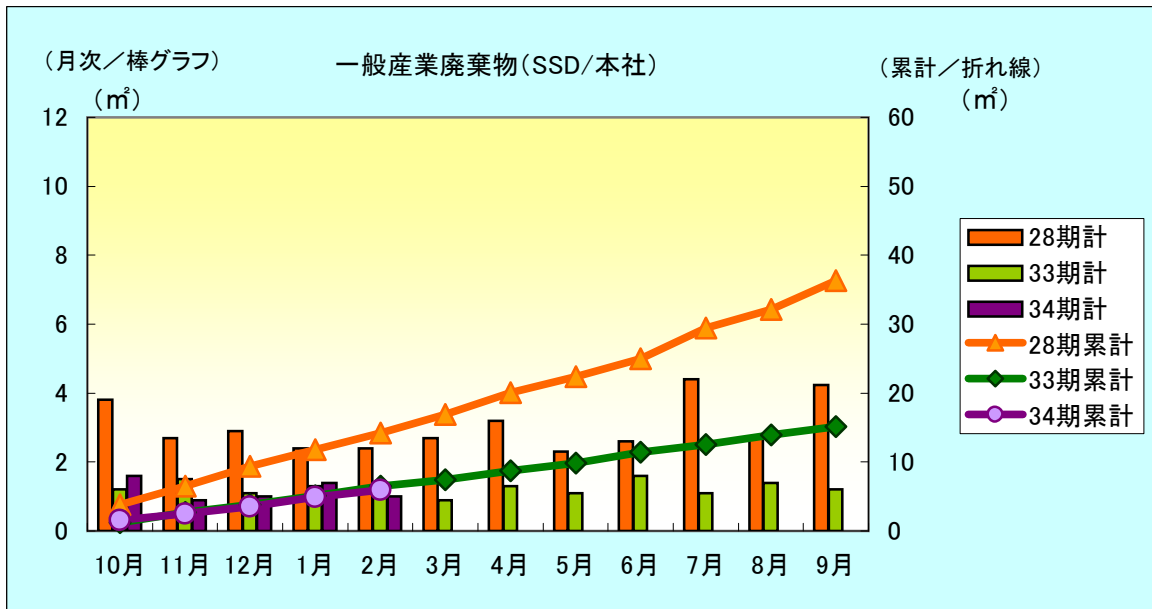


考察:

今月は前年累計比、約27%削減しています。

(事務局)

SSD(本社)

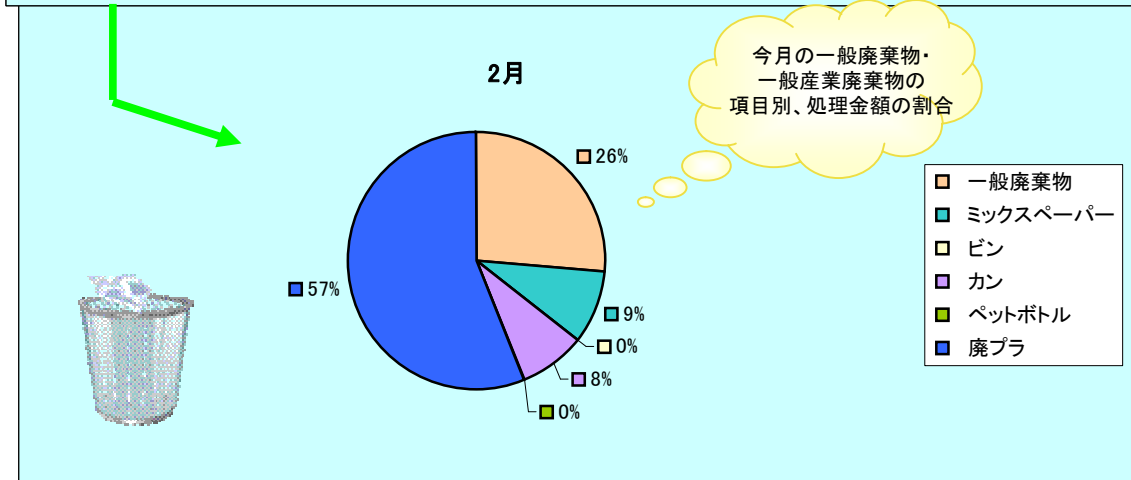
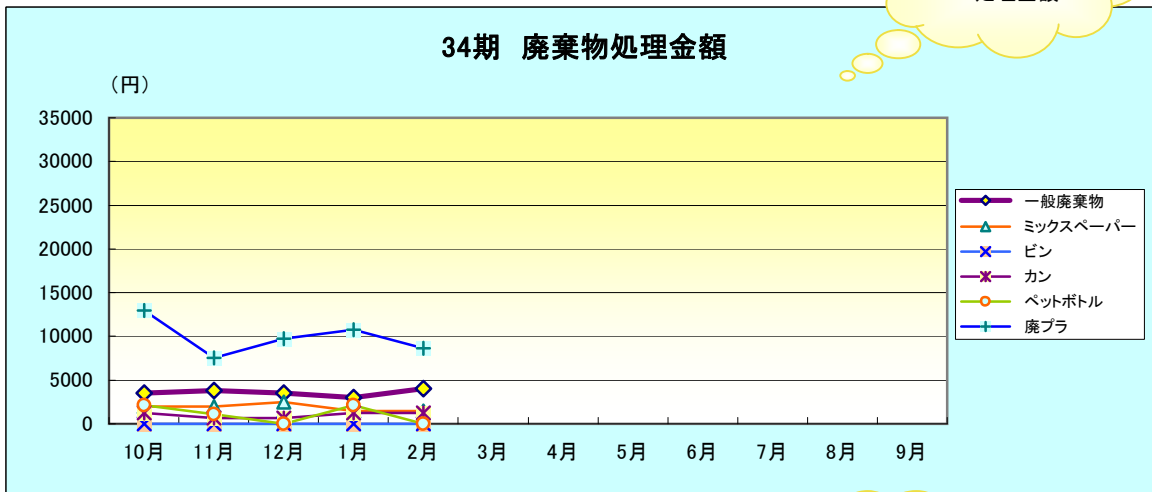
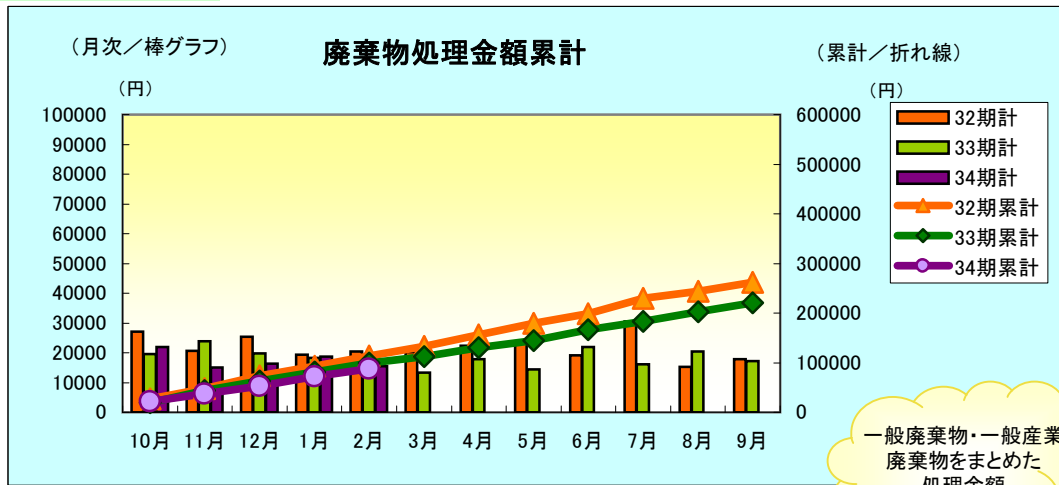


考察:

2月10日に下記の要領で売却しました。結果をご報告いたします。
 サンシン電気(本社)2Fの実験室等で出た、廃棄部品・基板などが次の価格で売却処理ができました。
 基板…15円/55kg 部品屑…15円/68kg 配線屑…20円/3kg トランス…10円/42kg

(事務局)

SSD(本社)



考察:

年々減少しつつあるものの、常に廃プラの割合が多くなっています。
なるべくかさばらないような廃棄方法を工夫して頂けますよう、ご協力を
よろしくお願いいたします。(*^-^)/\(^-^*)

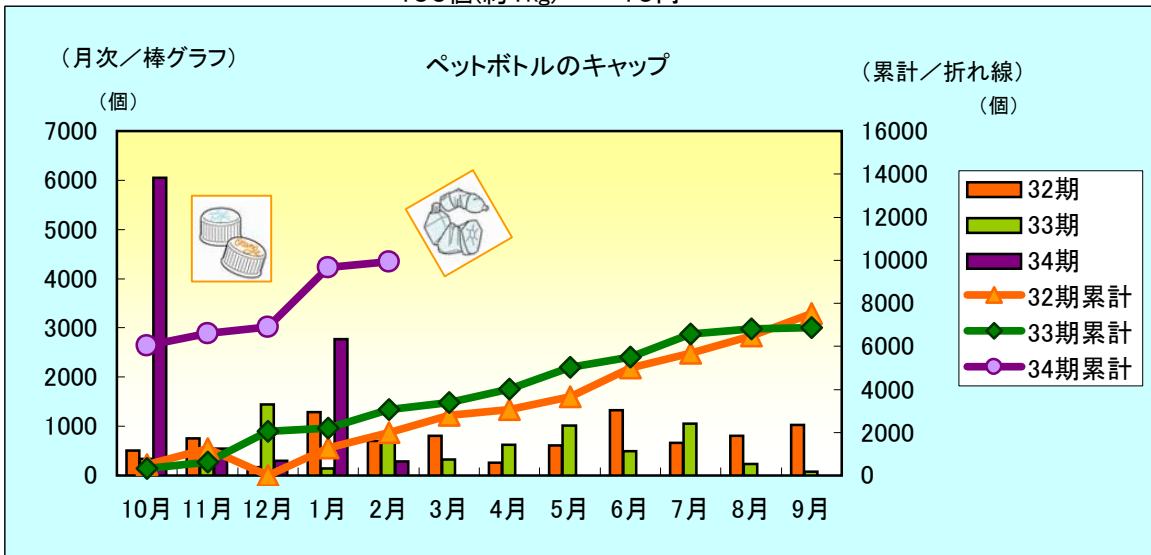
(事務局)

全社活動項目 (Part-4/7)

ペットボトルのキャップ

SSDグループ全社

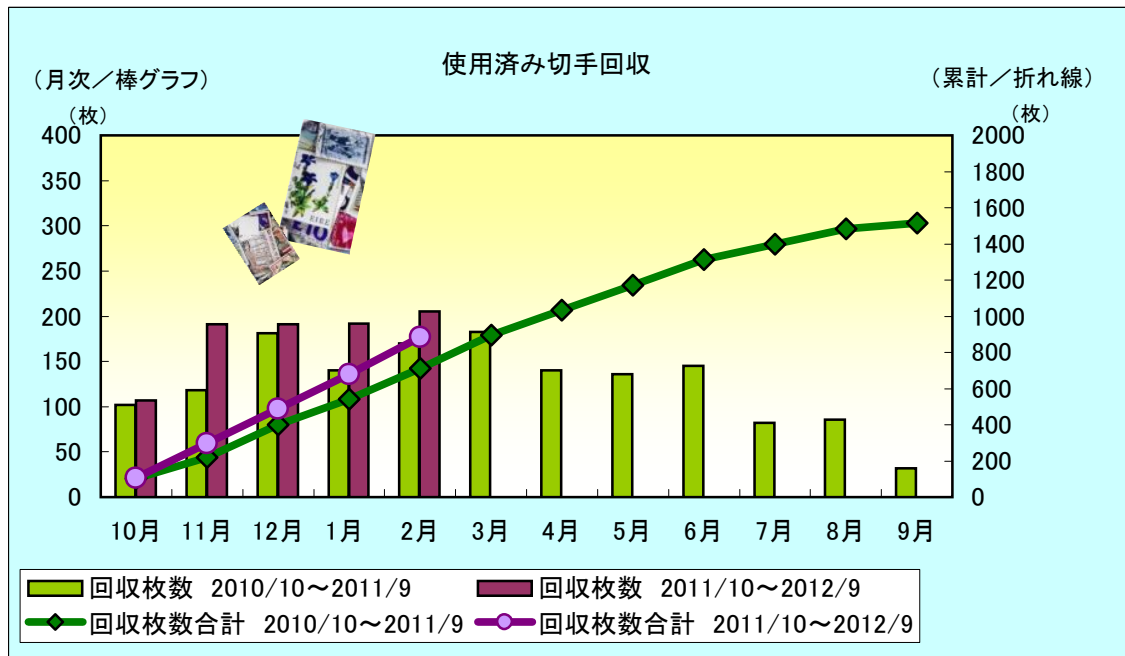
換金率: PETボトルキャップ
400個(約1kg) = 10円



考察:

引き続き、エコキャップの回収に、ご協力をお願いいたします。(事務局)

SSDグループ全社



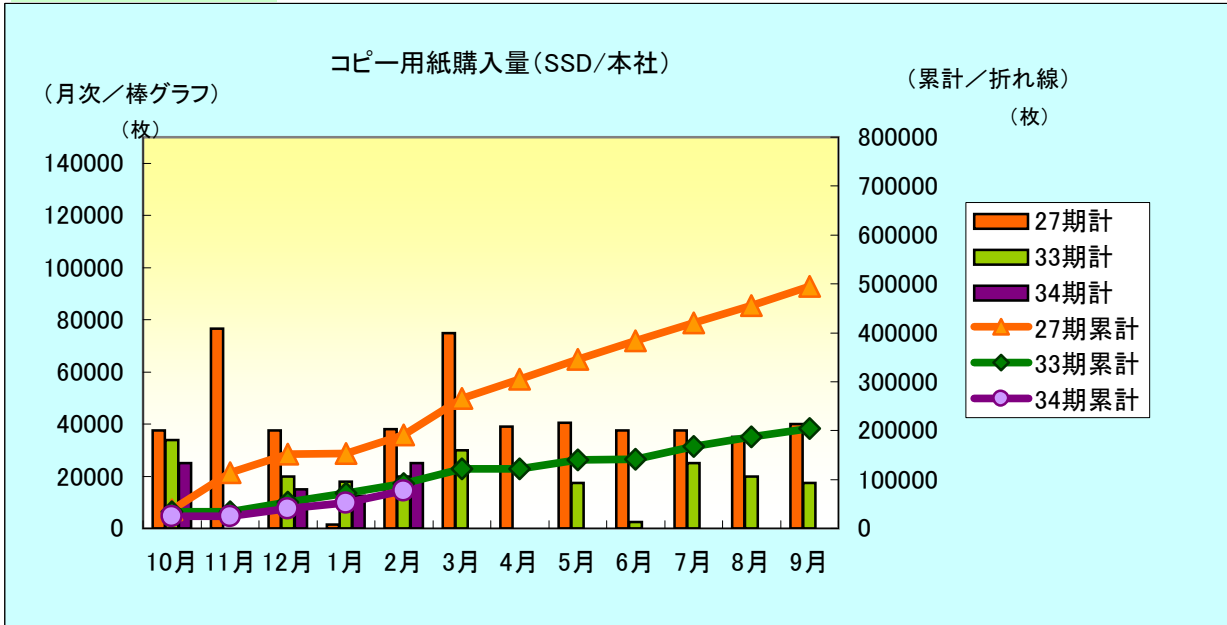
考察:

封筒に貼ってある切手を回収しています、ご協力宜しくお願いします(^-^*)/
(事務局)

全社活動項目 (Part-5/7)

コピー用紙

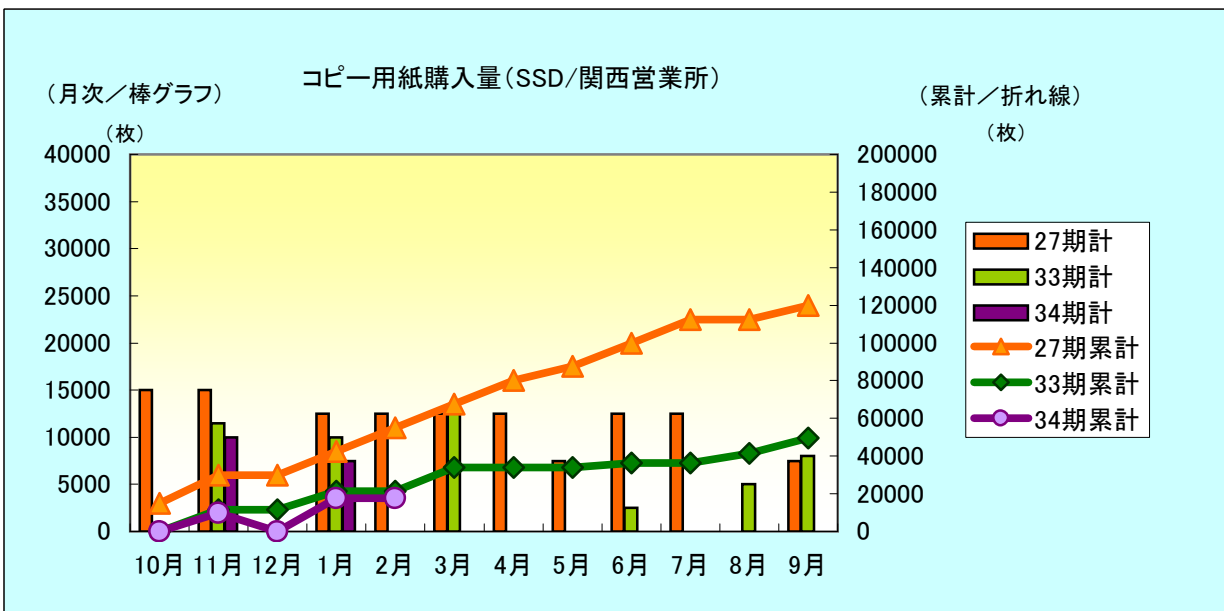
SSD(本社)



考察:

購入量を、年々減らすことが出来ております。
裏紙を上手に利用して、コピー用紙の削減に、ご協力をよろしくお願いいたします
(事務局)

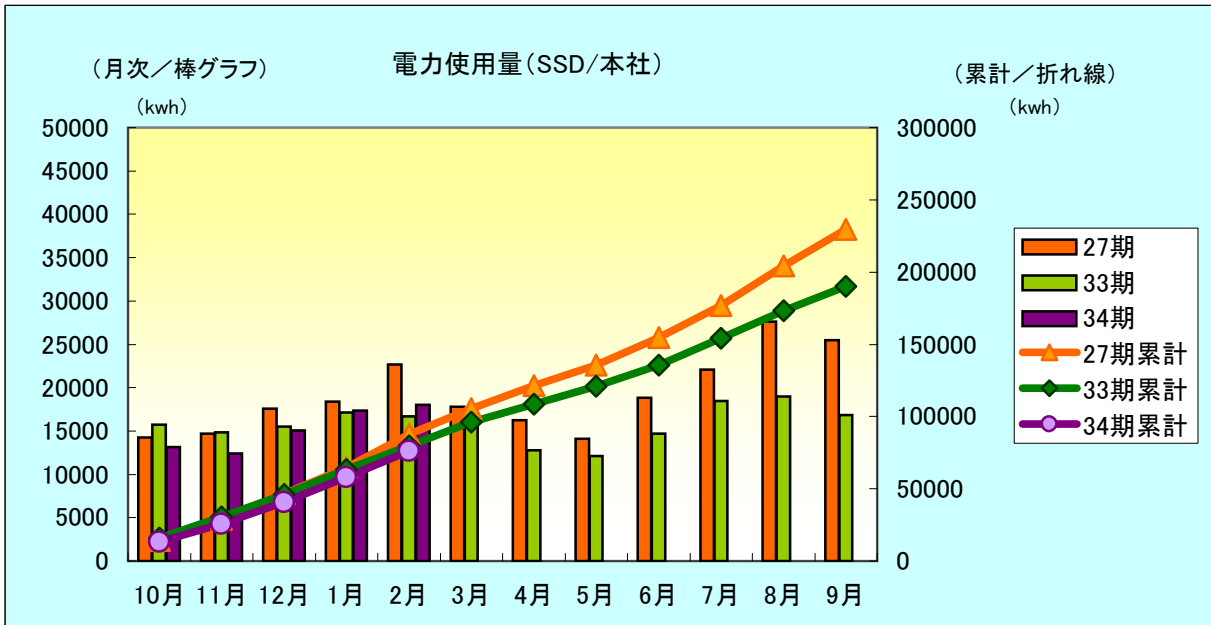
SSD(関西営業所)



考察:

34期は前年比より大幅増加しないよう、経過観測中です。
(事務局)

SSD(本社)

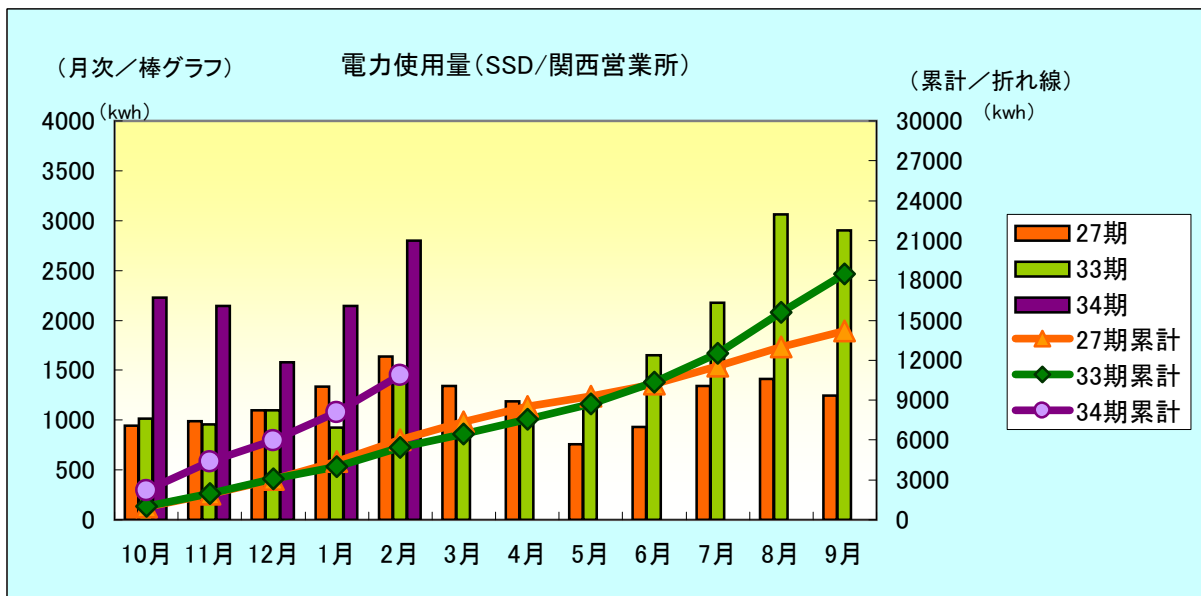


考察:

少しずつ春を感じる日も増えつつあります。
こまめな節電に、ご協力をよろしくお願いいたします。

(事務局)

SSD(関西営業所)



考察:

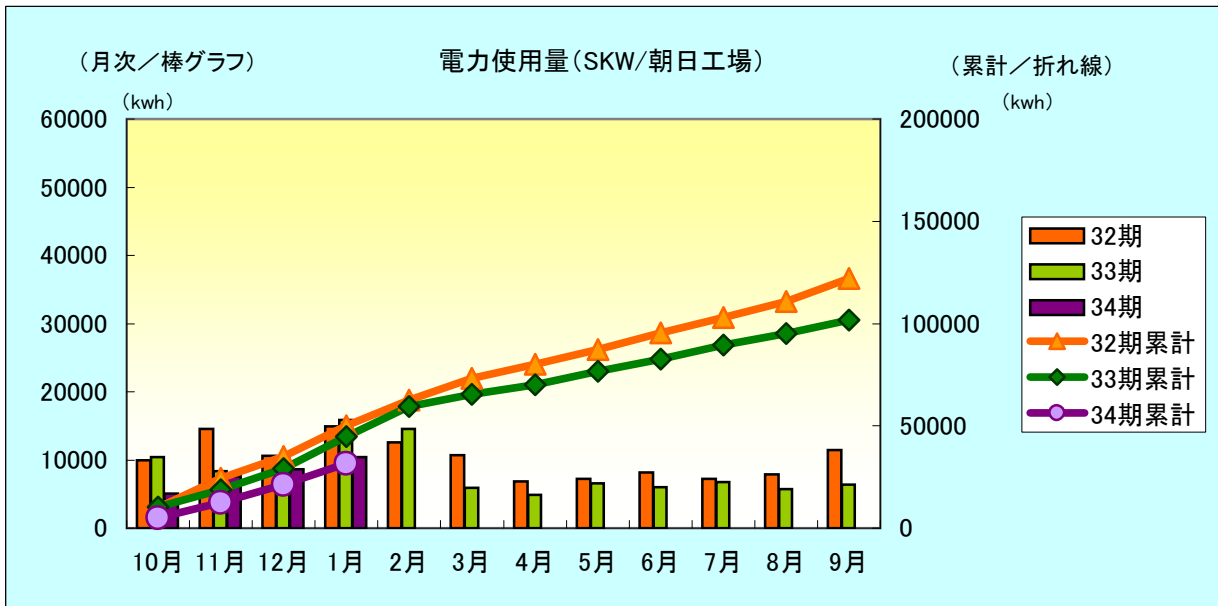
継続監視測定中

(事務局)

全社活動項目 (Part-7/7)

電力

SKW(朝日工場)

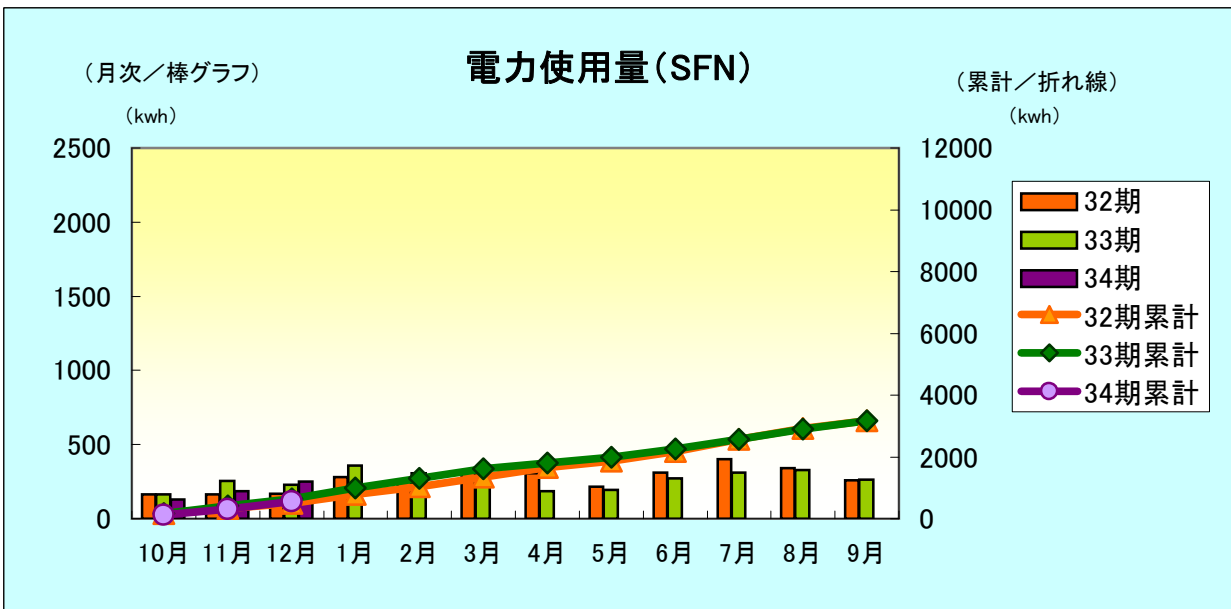


考察:

継続監視測定中

(事務局)

SFN



考察:

継続監視測定中

(事務局)

基板からの高さを抑えられる 及び 性能向上を積極的にPR

シンフォニー製品の、2相リンクリアクトルの商品を活用して
環境活動に貢献致します。

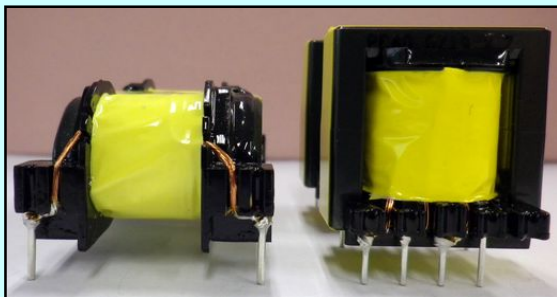
従来比較



図 2相リンクリアクトル EER28コア (↑面写真)
(↓側面写真)

メリット: 同一特性の場合

1. 小型化(高さが約8mm低くなる)
2. 軽量化(約20g)※EER28 2個との比較
(コア材の軽量化)
3. 生産作業性の改善
(2個から1個取り付け)
4. 設計アートワークコスト削減
5. 低ノイズ・力率改善回路
6. 直流伝送(入力)電源への提案
7. 昇圧コンバータ各種への提案

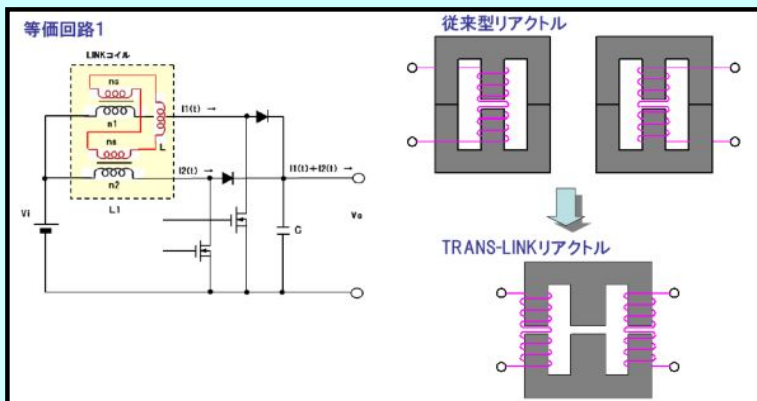


その他

200W・1.5KWのも開発済みです。

今後の取り組みとして
リクエストがあれば、開発に対して
協力させていただきます。
皆様の力で環境改善に取り組みましょう。

回路の実用例



コントロール ICに関しては
サンケン電気製
品番: SSC2101S
SSC2102S
が整備してありますので
ご要望の際はご活用下さい。

シンフォニーは、今後とも環境に対する意識を持ち小型化・軽量化を進めて行きます。(事務局)